

---

# ノンカピスコ 大晦日の夜に

天野 涙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノンカピスコ 大晦日の夜に

### 【Nコード】

N9376Z

### 【作者名】

天野 涙

### 【あらすじ】

30代独身女子の木村留美子は、ネットで、『百八煩惱の会』と言うイベントを知る。

大晦日の夜、普段話せない各人の秘密を話し、すっきりして新年を迎えましょうとの事。単なるカウントダウンのイベントと思うが、平凡な日常を送る留美子は、同僚の秘密を借りて、イベントに参加する。

## 第1話 秘密のイベント

『百八煩惱の会』と言うイベントが大晦日の夜にあると聞いたのは数日前。

場所は都内某所。時間は夜半

もう12月の半ばになり、街はクリスマススムード一色の頃。

主催元は、『王様の耳』と言う。

王様の耳は口バの耳？なんとイージーな・・・と木村留美子は思う。

(しかし、大晦日の夜、密かに集い会う人達って、どんな人種なのだろう?)

ふとソンな興味を持ってしまい、ネットで参加の申し込みをした。その時点で留美子は101番目の申込者と言う。あと残り7人で申し込みも締め切られる。

(何とも、盛況なのね。)

しかし、参加の但し書きに目がとまる。

『秘密を一つ、持参して下さい。大晦日の夜に、吐き出して楽になりましょう!』

年越しに、普段口に出来ない秘密を吐き出して、すっきりってか???

結局カウントダウンのイベントなのか?

何やら怪しげ・・・大丈夫か?とちよつと不安になる留美子。

少々心配ではあるが、常は凡々とした日常を送る独身女子である自分。

ちよっといつもと違う年の瀬を過ごすのもよいではないかと自分に言い聞かせるのだった。

(しかし、ちよっと待てよ・・・私に秘密ってあったっけ???)

会に参加するからには、他人が驚くような【秘密】を仕入れねば・・・たとえば人に聞いた話でも、自分の秘密にして公開するってのも有りよね？と

思ってしまった。

それから、【秘密】をあら探しし、ちよっとした友人の話を仕入れることに成功した。

(これで、いよいよ大手を振って参加できるウー)

秘密を提供してくれたのは、同僚の山本真由。普段の彼女からは想像も出来ない秘密だった。

『留美子に聞いてもらって、すつきりした・・・』

真由の晴れ晴れとした顔、しかし留美子はちよっと気分が重くなる。

秘密を受け取るって大変・・・まだ単純にそう思っていた。

そして当日、大晦日。

留美子は今年は帰省する事もしない、一人で正月を迎える決意をする。

どうせ帰っても、兄夫婦が幅を利かせ、居場所のない実家。

(今年の大晦日は面白いかも・・・)と気楽に思っていた。

指定された場所は、閉店したと思われるインターネットカフェ。入口で、黒服姿の男性にお面を渡される。

女性はオカメ、男性はひよつとこのよう。

暗めの店内には、もう数名の参加者がいた。アリの巣のように分けられた

部屋に番号順に座る。

温かい部屋、静かなBGM、夜食と思われるおにぎり、パンも完備。トイレ、珈琲、お茶も入用のときは、スタッフを呼べとある。

そして集合完了の時刻、午後10時になる。

一斉に、机上のパソコン画面が明るくなった。

『秘密の暴露ショー、いよいよ開幕!!』

留美子は期待に胸が高鳴るのだった。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9376z/>

---

ノンカピスコ 大晦日の夜に

2011年12月29日11時48分発行